令和７年度　野田市立南図書館、野田市立北図書館、野田市南コミュニティ会館及び野田市北コミュニティ会館 指定管理者管理運営状況調書

担当課　興風図書館

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価	担当課評価	特記事項
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	サービス向上のための取組状況	B	B	
管理経費の縮減が図られるものであること	①指定管理に係る経費の収支見込について	B	B	
	②経費縮減のための取組	B	B	
地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際して、地元業者へ配慮すること	地元住民の雇用及び地元業者への配慮	B	B	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	人員配置について	B	B	

総合所見

令和８年１月９日に興風図書館長及び担当者が当該指定管理施設を訪問し、現地確認及び聞き取りを実施しました。

利用状況につきましては、図書館における個人貸出点数が、令和６年度と比較すると、　12 月末現在で南図書館では 10,857 点の減少、北図書館で 1,095 点減少しており、依然として減少した状態が続いております。前年度 12 月同月比では、南図書館で 3,875 件、北図書館で 1,871 件の減少となっています。

コミュニティ会館につきましては、12 月末現在で南コミュニティ会館は利用件数で 13 件、利用人数で 1,010 人減少しており、北コミュニティ会館は利用件数で 184 件、利用人数で 2,545 人減少しています。このような状況を改善する方策として、せきやど図書館や関宿コミュニティ会館と同様に、民間の知見や情報力を生かした魅力あるイベントをコミュニティ会館で開催することにより、読書への啓発や機運を高めるきっかけづくりを行っております。

施設の管理面においては、保守点検についておおむね業務計画書のとおり実施されており、施設の老朽化等が進む中、優先順位をつけて破損や故障個所について適切かつ迅速に補修・修繕を実施しているものと認められます。また、低濃度ＰＣＢについて、令和８年度末までに処分を完了するよう環境省から示されていることから、製造年等からＰＣＢ含有の可能性がある両コミュニティセンター高圧コンデンサについて、調査のための交換工事及び含有調査を実施し、処分等の

必要がないことが確認できました。
　指定管理者職員については、南図書館及び南コミュニティ会館で職員16名中12名が、北図書館及び北コミュニティ会館で職員16名（1名南図書館と兼務）中10名が野田市在住者となっており、地元からの雇用促進に寄与するものとなっていると認められます。
　指定管理者の経営状況については、光熱水費等の増大により収支が悪化していることが見受けられますが、全体的には、指定管理業務に係る仕様書に基づき、おおむね適正に管理運営がなされていると評価できます。
　今後適正な人員配置による人件費の抑制を図り、更なる施設利用等の増加を目指して、より一層のサービスの向上及び工夫に努めていただきたいと考えます。